

8-4-2 植物

(1) 調査

1) 調査の手法及び調査地点等

調査項目	調査の手法及び調査地域等
<p>・高等植物に係る植物相及び植生の状況</p> <p>・重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>(東海丘陵の小湿地群においては、「湿地・湿原生態系保全の考え方～適切な保全活動の推進を目指して～」(平成19年3月、愛知県)に挙げられている種及び専門家の助言により選定した湿地性の種を対象)</p>	<p>文献調査：地域に生育する植物関連の文献、資料を収集し整理した。なお、必要に応じて専門家へのヒアリングを行った。</p> <p>現地調査： 〈植物相〉任意確認 〈植生〉コドラート法 〈蘚苔類〉任意確認</p> <p>調査地域：対象事業実施区域及びその周囲の内、都市トンネル、山岳トンネル、非常口(都市部、山岳部)、変電施設、保守基地を対象に工事の実施又は鉄道施設(非常口(都市部、山岳部)、変電施設、保守基地)の存在に係る植物への影響が生ずるおそれがあると認められる地域とした。</p> <p>調査地点：調査地域の内、自然環境の状況及び利用状況等を考慮し、植物の生育環境を適切に把握することができる範囲に設定した。調査範囲は、土地改変区域から概ね600mの範囲とした。なお、東海丘陵の小湿地群は、周辺の地形等や専門家からの助言を勘案して、その地域を代表する植物の生育環境を網羅できる範囲として、西尾地区の南北に設定した。</p> <p>調査期間： 植物相：4季(早春季、春季、夏季、秋季) 植生：2季(夏季、秋季) 蘚苔類：1季(秋季)</p>

ア. 高等植物に係る重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況

生育が確認された高等植物に係る種及び分布が確認された群落の内、表 8-4-2-1 に示す基準に該当するものを高等植物に係る重要な種及び群落として選定する。

なお、重要な種の選定にあたっては、必要に応じて専門家の助言を受け、選定する。

表 8-4-2-1 高等植物に係る重要な種及び群落の選定基準

番号	文献及び法令名	区分
①	文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）	特天：特別天然記念物 天：天然記念物
②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年、法律第 75 号）	国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
③	愛知県文化財保護条例（昭和 30 年、愛知県） 春日井市文化財保護条例（昭和 57 年、春日井市） 名古屋市文化財保護条例（昭和 47 年、名古屋市）	県天：県指定天然記念物 市天：市指定天然記念物
④	自然環境保全法（昭和 47 年、法律第 85 号）	○：指定の地域
⑤	自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例（昭和 48 年、愛知県条例第 3 号） 自然環境の保全を推進する条例（平成 24 年、春日井市）	指定：指定希少野生動植物
⑥	環境省第 4 次レッドリスト 植物Ⅰ（維管束植物）及び植物Ⅱ（維管束植物以外：蘚苔類、藻類、地衣類、菌類）（平成 24 年、環境省）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
⑦	レッドデータブックあいち 2009（平成 22 年、愛知県）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類
⑧	レッドデータブックなごや 2010-2004 年版補遺（平成 22 年、名古屋市）	NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：地域個体群
⑨	植物群落レッドデータ・ブック（平成 8 年、我が国における保護上重要な植物種および植物群落研究委員会植物群落分科会）	1：要注意 2：破壊の危惧 3：対策必要 4：緊急に対策必要
⑩	第 4 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）（平成 3 年、環境庁）	指定：掲載されている巨樹、巨木
⑪	第 2 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）（昭和 55 年、環境庁） 第 3 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）（昭和 63 年、環境庁） 第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書（平成 12 年、環境庁）	指定：指定されている特定植物群落
⑫	湿地・湿原生態系保全の考え方～適切な保全活動の推進を目指して～（平成 19 年 3 月、愛知県）	○：東海丘陵要素植物群
⑬	専門家の助言により選定した種	○：選定した種

2) 調査結果

ア. 高等植物に係る植物相

ア) 植物相の状況

現地調査において、151科 891種の高等植物が確認された。

イ) 重要な種の確認状況

文献調査及び現地調査により確認された高等植物に係る重要な種は95科338種であった。確認種を表 8-4-2-2 に示す。なお、名古屋城内は調査を行っていないが、専門家へのヒアリング及び文献調査からキクムグラ、チャセンシダ、センダイスゲが確認されている。

表 8-4-2-2(1) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準								
			文献	現地	①	②	⑤	⑥	⑦	⑧	⑫	⑬	
1	マツバラン	マツバラン	○						NT	VU			
2	ヒカゲノカズラ	アスヒカズラ	○							VU			
3		スギラン	○						VU	VU			
4		ヤチスギラン	○							VU			
5	ミズニラ	ミズニラ	○						NT	NT	CR		
6	ハナヤスリ	オオハナワラビ	○								NT		
7		ヒロハハナヤスリ	○							VU			
8	ゼンマイ	ヤマドリゼンマイ	○								EN		
9	キジノオシダ	タカサゴキジノオ	○							VU			
10		ヤマソテツ	○							NT			
11	コケシノブ	ウチワゴケ	○								VU		
12		ミカワコケシノブ	○						EN	VU			
13	コバノイシカグマ	イシカグマ	○							NT	VU		
14	シシラン	タキミシダ	○						EN	EN			
15	チャセンシダ	カミガモシダ	○							EN			
16		トキワトラノオ	○								NT		
17		オクタマシダ	○						VU	VU			
18		チャセンシダ	○								VU		
19	シシガシラ	コモチシダ	○								VU		
20	オシダ	タカサゴシダ	○						NT	EN			
21		スカイタチシダ	○							NT			
22		ワカナシダ	○							VU			
23		オワセベニシダ	○							VU			
24		タニヘゴ	○								NT		
25	ヒメシダ	ツクシヤワラシダ	○							VU	CR		

表 8-4-2-2(2) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準								
			文献	現地	①	②	⑤	⑥	⑦	⑧	⑫	⑬	
26	メシダ	ウスヒメワラビ	○							EN			
27		ミヤマシケンダ	○						NT				
28		ウスバシケンダ	○					VU	VU	VU			
29		シロヤマシダ	○							EN			
30		ウスバミヤマノコギリシダ	○							VU			
31	ウラボシ	クラガリシダ	○					EN	EN				
32		イワオモダカ	○						VU				
33	ヒメウラボシ	オオクボシダ	○						NT				
34	デンジソウ	デンジソウ	○					VU	EN	EX			
35	サンショウモ	サンショウモ	○					VU	EN	EX			
36	アカウキクサ	アカウキクサ	○					EN	CR				
37		オオアカウキクサ	○					EN	EN				
38	ヒノキ	ネズ	○						NT				
39	イチイ	カヤ	○							CR			
40	ヤナギ	キヌヤナギ	○						NT	VU			
41	カバノキ	カワラハンノキ	○							VU			
42		サクラバハンノキ	○	○					NT		NT		○
43	ブナ	フモトミズナラ	○							NT	VU		
44		ウラジロガシ	○								VU		
45	イラクサ	ミヤコミズ	○						CR	CR			
46	タデ	ウナギツカミ	○								VU		
47		サクラタデ	○								VU		
48		ヒメタデ	○						VU	EN			
49		ホソバイヌタデ	○						NT	VU			
50		サイコクヌカボ	○	○					VU	NT			○
51		ナガバノウナギツカミ	○						NT	NT	EN		
52		コヌカボタデ	○								VU		
53		ヌカボタデ	○						VU	VU			
54		コミゾソバ	○								NT	EX	
55		ヒメボントクタデ	○								NT		
56		ノダイオウ	○						VU	EN			
57	コギシギシ	○						VU		VU			
58	ナデシコ	カワラナデシコ	○								NT		
59	アカザ	ハマアカザ	○							VU	EX		
60	モクレン	シデコブシ	○	○				春日井市	NT	VU	EN		
61	クスノキ	カゴノキ	○								NT		
62		ダンコウバイ	○								CR		
63		ヒメクロモジ	○								CR		
64		シロダモ	○								NT		
65	キンポウゲ	スハマソウ	○							NT	CR		
66		カザグルマ	○						NT	VU	CR		
67		オキナグサ	○						VU	EN	EX		
68		ウマノアシガタ	○								VU		
69	メギ	ヘビノボラズ	○	○						NT	NT		
70		ヒメイカリソウ	○								CR		
71	スイレン	ジュンサイ	○								NT		
72		オニバス	○						VU	CR	EX		
73		ヒメコウホネ	○						VU	EN	EX		
74	ウマノスズクサ	オオバウマノスズクサ	○								VU		
75		スズカカンアオイ	○									NT	

表 8-4-2-2(3) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準										
			文献	現地	①	②	⑤	⑥	⑦	⑧	⑫	⑬			
76	ボタン	ヤマシヤクヤク	○					NT	VU						
77	マタタビ	マタタビ	○							VU					
78	オトギリソウ	サワオトギリ	○							VU					
79	モウセンゴケ	ナガバナイシモチソウ	○					VU	CR	EX					
80		シロバナナガバナイシモチソウ	○						CR						
81		イシモチソウ	○					NT	VU	EN					
82		モウセンゴケ	○								NT				
83		トウカイコモウセンゴケ			○								○		
84	アブラナ	ミズタガラシ	○						NT	EN					
85		マルバタネツケバナ	○							VU					
86		コイヌガラシ	○					NT		VU					
87	マンサク	ダンドミズキ	○						VU						
88		マンサク	○								NT				
89	ベンケイソウ	ツメレンゲ	○	○				NT	NT	VU					
90	ユキノシタ	ミカワショウマ	○					NT	VU						
91		キバナハナネコノメ	○					NT	NT						
92		コアジサイ	○								NT				
93		コガクウツギ	○							EN	CR				
94		ウメバチソウ	○								EN				
95		タコノアシ	○						NT	NT					
96		ヤブサンザシ	○							VU	EN				
97		ナメラダイモンジソウ	○							NT					
98		イワガラミ	○									EN			
99		バラ	オオウラジロノキ	○								VU			
100	カワラサイコ		○							NT	EN				
101	エチゴツルキジムシロ		○								EN				
102	ワタゲカマツカ		○									NT			
103	マメナシ		○						EN	CR	EN				
104	マメ	ホドイモ	○								VU				
105		カワラケツメイ	○									NT			
106		タヌキマメ	○									VU			
107		カラメドハギ	○									EN			
108		イヌハギ	○						VU	VU	CR				
109		マキエハギ	○									NT			
110		ビワコエビラフジ	○								EN				
111	トウダイグサ	ハギクソウ	○						CR	CR					
112		ヒトツバハギ	○									CR			
113	ニガキ	ニガキ	○									VU			
114	カエデ	カラコギカエデ	○							VU					
115		ハナノキ	○						VU	CR					
116	モチノキ	タマミズキ	○								VU				
117		ミヤマウメモドキ	○								VU				
118	クロウメモドキ	ケンボナシ	○							EN					
119	アオイ	ハマボウ	○							VU	EX				
120	ジンチョウゲ	ガンピ	○								VU				
121	スマレ	コタチツボスマレ	○							VU					
122		ケイリュウタチツボスマレ	○									NT			
123		オオタチツボスマレ	○								EN				
124		スマレサイシン	○								EN				

表 8-4-2-2(4) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準										
			文献	現地	①	②	⑤	⑥	⑦	⑧	⑫	⑬			
125	スマレ	アギスマレ	○								VU				
126	ミソハギ	ヒメミソハギ	○								EN				
127		ミズスギナ	○					CR	EX	EX					
128		ミズキカシグサ	○					VU	VU						
129		ミズマツバ	○					VU							
130	ヒシ	ヒメビシ	○					VU	EN						
131	アカバナ	ウスゲチョウジタデ	○					NT			VU				
132	アリノトウグサ	オグラノフサモ	○					VU	VU	VU					
133		ホザキノフサモ	○								VU				
134		タチモ	○						NT	NT	EN				
135		セリ	ノダケ	○								VU			
136		エキサイゼリ	○					NT	CR						
137		ムカゴニンジン	○								VU				
138	イワウメ	オオイワカガミ	○							VU					
139	イチヤクソウ	シャクジョウソウ	○							NT					
140		ギンリョウソウモドキ	○								VU				
141		イチヤクソウ	○									NT			
142	ツツジ	イワナシ	○							EN					
143		ナガボナツハゼ	○						CR	CR					
144	サクラソウ	ノジトラノオ	○						VU	CR					
145		クサレダマ	○									NT			
146	ハイノキ	クロミノニシゴリ	○									NT			
147	モクセイ	ヒトツバタゴ	○						VU	EN					
148	リンドウ	リンドウ	○									EN			
149		コケリンドウ	○								VU	CR			
150		イヌセンブリ	○							VU	NT	VU			
151	ミツガシワ	ガガブタ	○						NT	NT	VU				
152		アサザ	○	○						NT	EN			○	
153	ガガイモ	フナバラソウ	○						VU	VU					
154		クサナギオゴケ	○						VU	NT	EX				
155		スズサイコ	○							NT		EN			
156	アカネ	ホソバニセジュズネノキ	○									VU			
157		ナガバジュズネノキ	○								EN				
158		キクムグラ	○								NT	EN			
159		ホソバノヨツバムグラ	○										VU		
160		シチョウゲ	○								NT				
161	ヒルガオ	ネナシカズラ	○									NT			
162	ムラサキ	ホタルカズラ	○								VU	EX			
163		ハイルリソウ	○							CR	EX				
164		ミズタバコ	○									NT			
165		クマツヅラ	ヤブムラサキ	○									EN		
166	シソ	ジュウニヒトエ	○								VU				
167		ケブカツルカソウ	○									EN	EX		
168		ミズネコノオ	○								NT	VU	EN		
169		ミズトラノオ	○								VU	VU	EX		
170		オドリコソウ	○											VU	
171			シロネ	○									NT		
172			ハッカ	○										NT	
173			ヤマジソ	○									VU	EX	
174			ヤマハッカ	○									CR	EX	

表 8-4-2-2(5) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準								
			文献	現地	①	②	⑤	⑥	⑦	⑧	⑫	⑬	
175	シソ	シマジタムラソウ	○							NT			
176		ミゾコウジュ	○					NT	VU				
177		オカタツナミソウ	○							VU			
178		タツナミソウ	○					VU	NT	CR			
179		イヌゴマ	○					NT		NT			
180		ニガクサ	○							EN			
181	ナス	ヤマホオズキ	○						VU				
182	ゴマノハグサ	ゴマクサ	○							NT			
183		マルバノサワトウガラシ	○							VU			
184		オオアブノメ	○					EN	NT				
185		スズメノハコベ	○					VU	VU				
186		ミカワシオガマ	○					VU	NT				
187		グンバイツル	○					VU	NT	VU			
188		イヌノフグリ	○					VU	NT				
189		カワヂシャ	○	○				VU	EN				
190		ハマウツボ	ナンバンギセル	○					VU				
191			キヨスミウツボ	○					VU		VU		
192	タヌキモ	ノタヌキモ	○					NT					
193		ミミカキグサ	○							NT			
194		ホザキノミミカキグサ	○						VU				
195		フサタヌキモ	○					VU	VU	EX			
196		ミカワタヌキモ	○							NT			
197		コタヌキモ	○							NT			
198		ヒメタヌキモ	○	○				EN	EX	EX		○	
199		ヒメミミカキグサ	○					VU	EN	EX			
200		イヌタヌキモ	○						EX	EX			
201		ムラサキミミカキグサ	○					NT	VU				
202	スイカズラ	オオカメノキ	○					EN	EN	EX			
203		タニウツギ	○					NT		NT			
204	キキョウ	サワギキョウ	○					NT	NT	EN			
205		タニギキョウ	○							VU			
206		キキョウ	○							EX			
207	キク	ヌマダイコン	○							VU			
208		オクモミジハグマ	○							VU			
209		キッコウハグマ	○					VU	NT	VU			
210		カワラハハコ	○							VU			
211		カワラニンジン	○							VU			
212		ヒメシオン	○							VU			
213		ウラギク	○							VU			
214		オケラ	○							NT			
215		シロバナタカアザミ	○						VU	EX			
216		キセルアザミ	○					NT		VU			
217		フジバカマ	○							VU			
218		アキノハハコグサ	○						EN				
219		ミズギク	○							NT			
220		オグルマ	○					NT	EN				
221		ムラサキニガナ	○					VU	VU	EX			
222		ミコシギク	○						NT	EN			
223		ヤマタバコ	○							VU			
224		カシワバハグマ	○							VU			
225	アオヤギバナ	○					VU	CR					

表 8-4-2-2(6) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準							
			文献	現地	①	②	⑤	⑥	⑦	⑧	⑫	⑬
226	オモダカ	ヘラオモダカ	○							VU		
227		マルバオモダカ	○					VU	EN			
228		アギナシ	○					NT		NT		
229	トチカガミ	セトヤナギスブタ	○					EN	EN			
230		マルミスブタ	○	○				VU	EN	EX		○
231		スブタ	○					VU	VU	EX		
232		トチカガミ	○					NT	EN	EX		
233	ホロムイソウ	シバナ	○					NT	NT	EN		
234	ヒルムシロ	ヒルムシロ	○						NT	EN		
235		ササバモ	○						VU			
236		イトモ	○					NT	NT			
237	イバラモ	ムサシモ	○					EN	EN			
238		サガミトリゲモ	○					VU	VU			
239		イトトリゲモ	○					NT		NT		
240		オオトリゲモ	○						NT	VU		
241	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ	○					VU	VU			
242	ユリ	ヤマラッキョウ	○							NT		
243		キイトラッキョウ	○					VU	VU			
244		チゴユリ	○							VU		
245		カタクリ	○							CR		
246		ノカンゾウ	○							EN		
247		キスゲ	○							VU		
248		キヨスミギボウシ	○							VU		
249		コバギボウシ	○							VU		
250		ヤマユリ	○							CR		
251		ウバユリ	○							VU		
252		ササユリ	○				春日井市			EN		
253		コオニユリ	○							CR		
254		サクライソウ	○					EN	CR			
255		ミヤマナルコユリ	○							EN		
256		イワショウブ	○							NT		
257	アマナ	○							VU			
258	ミカワバイケイソウ	○						VU	EN			
259	ヤマノイモ	ヒメドコロ	○							VU		
260	ミズアオイ	ミズアオイ	○					NT	CR	EX		
261	アヤメ	ノハナショウブ	○							EN		
262	ヒナノシヤクジョウ	ヒナノシヤクジョウ	○						VU	CR		
263	ホシクサ	オオホシクサ	○						EN	EX		
264		ツクシクロイヌノヒゲ	○					VU	NT	EN		
265		シラタマホシクサ	○	○					VU	VU	VU	
266		クロホシクサ	○						VU	VU	CR	
267	イネ	ハネガヤ	○						EN			
268		ミズタカモジ	○					VU	EN			
269		ヒメコヌカグサ	○					NT		NT		
270		ヒナザサ	○					NT	VU	EX		
271		ヌマカゼクサ	○							VU		
272		コゴメカゼクサ	○						VU	EX		
273		ウンヌケモドキ	○					NT	VU			
274		ウンヌケ	○					VU	NT	VU		
275		コウボウ	○							VU		

表 8-4-2-2(7) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準								
			文献	現地	①	②	⑤	⑥	⑦	⑧	⑫	⑬	
276	イネ	カモノハシ	○						VU				
277		トウササクサ	○						NT				
278		ウキシバ	○						NT	VU			
279		シダミコザサ	○						VU	VU			
280		ナリヒラダケ	○						VU				
281	サトイモ	スルガテンナンショウ	○							VU			
282	ミクリ	ミクリ	○					NT	VU	EN			
283		ヤマトミクリ	○	○				NT	NT	EN		○	
284		ナガエミクリ	○	○					NT		VU		○
285		ヒメミクリ	○						VU	CR			
286		カヤツリグサ	イトテンツキ	○					NT	NT			
287	トダスゲ		○					CR	EX				
288	ショウジョウスゲ		○								NT		
289	ツクバスゲ		○								VU		
290	ケタガネソウ		○								VU		
291	ピロードスゲ		○								VU		
292	オオタマツリスゲ		○							EN			
293	ウマスゲ		○									CR	
294	タカネマスクサ		○							VU			
295	ホザキマスクサ		○						VU	CR			
296	ジングウスゲ		○						NT	NT			
297	センダイスゲ		○							VU	EN		
298	アズマナルコ		○									EN	
299	ニシノホンモンジスゲ		○							VU	EN		
300	ヒメアオガヤツリ		○							EN	EN		
301	ヌマガヤツリ		○							NT			
302	オオシロガヤツリ		○							EN			
303	ヒメガヤツリ		○							VU	EN		
304	セイタカハリイ		○							VU	CR		
305	トネテンツキ		○						VU	VU			
306	オオイヌノハナヒゲ		○							VU			
307	イガクサ		○									EN	
308	マツカサススキ		○									EN	
309	シズイ		○							VU	EX		
310	イセウキヤガラ		○									VU	
311	ミカワシンジュガヤ		○						VU	VU	EN		
312	ラン		ヒナラン	○					EN	EX			
313			イワチドリ	○					EN	EN			
314			エビネ	○					NT	NT			
315			ナツエビネ	○					VU	VU			
316			ユウシュンラン	○					VU	VU			
317		キンラン	○					VU	NT	CR			
318		サイハイラン	○							VU			
319		マヤラン	○					VU	CR				
320		クマガイソウ	○					VU	VU				
321		セッコク	○						NT				
322		カキラン	○								VU		
323		ミヤマウズラ	○								VU		
324		オオミヤマウズラ	○						EN	CR			
325		シュスラン	○						VU	CR			
326		ムカゴトンボ	○					EN	CR				

表 8-4-2-2(8) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準							
			文献	現地	①	②	⑤	⑥	⑦	⑧	⑫	⑬
327	ラン	サギソウ	○	○				NT	VU	VU		○
328		ミズトンボ	○					VU	VU	EX		
329		ホクリクムヨウラン	○						VU			
330		ムヨウラン	○								EN	
331		ウスギムヨウラン	○					NT	EN			
332		ジガバチソウ	○								VU	
333		クモキリソウ	○								VU	
334		スズムシソウ	○							CR		
335		ツクシサカネラン	○					EX	EX			
336		コバノトンボソウ	○								EN	
337		トキシソウ	○					NT	EN	EX		
338		ヤマトキシソウ	○							VU	EX	
計	95 科	338 種	338 種	14 種	0 種	0 種	2 種	132 種	203 種	214 種	1 種	8 種

注 1. 文献調査及び現地調査によって位置情報が確認された種について確認状況欄にそれぞれ○を記載した。

注 2. 分類、配列などは「自然環境保全基礎調査 植物目録 1987」環境庁（1987）に準拠した。

注 3. 高等植物に係る重要な種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」（昭和 25 年、法律第 214 号）

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年、法律第 75 号）

国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種

⑤ 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例（昭和 48 年、愛知県条例第 3 号）」

「自然環境の保全を推進する条例（平成 24 年、春日井市）」

愛知県：愛知県指定希少野生動植物、春日井市：春日井市指定希少野生動植物

⑥ 「環境省第 4 次レッドリスト 植物 I（維管束植物）及び植物 II（維管束植物以外：蘚苔類、藻類、地衣類、菌類）」（平成 24 年、環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類

VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

⑦ 「レッドデータブックあいち 2009」（平成 22 年、愛知県）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧

DD：情報不足、LP：地域個体群

⑧ 「レッドデータブックなごや 2010-2004 年版補遺」（平成 22 年、名古屋市）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧

DD：情報不足、LP：地域個体群

⑫ 「湿地・湿原生態系保全の考え方～適切な保全活動の推進を目指して～」（平成 19 年 3 月、愛知県）

○：東海丘陵要素植物群

⑬ 専門家の助言により選定した種

○：専門家の選定種

イ. 高等植物に係る植生

7) 植生の状況

文献調査及び現地調査において、合計 33 の高等植物に係る群落等が確認された。

1) 重要な群落の確認状況

文献調査及び現地調査により確認された高等植物に係る重要な群落は 5 群落である。文献及び現地で確認された高等植物に係る重要な群落とその選定基準は表 8-4-2-3 に示す。

表 8-4-2-3 高等植物に係る重要な群落確認一覧

No.	群落名	確認状況		選定基準				
		文献	現地	①	③	⑨	⑪	⑬
01	小牧大山の照葉樹林	○					指定	
02	犬山ヒトツバタゴの自生地	○					指定	
03	オグラコウホネ群落	○					指定	
04	竜泉寺のコジイ林	○					指定	
05	御津神社社叢	○					指定	
計	5 群落	5 群落	0 群落	0 群落	0 群落	0 群落	5 群落	0 群落

注 1. 文献調査及び現地調査によって位置情報が確認された種について確認状況欄にそれぞれ○を記載した。

注 2. 高等植物に係る重要な群落の選定基準は以下のとおりである。

①文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

③「愛知県文化財保護条例」（昭和 30 年、愛知県）

「春日井市文化財保護条例」（昭和 57 年、春日井市）

「名古屋市文化財保護条例」（昭和 47 年、名古屋市）

県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

⑨「植物群落レッドデータ・ブック」（平成 8 年、我が国における保護上重要な植物種および植物群落研究委員会植物群落分科会）

1：要注意、2：破壊の危惧、3：対策必要、4：緊急に対策必要

⑪「第 2 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）」（昭和 55 年、環境庁）

「第 3 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）」（昭和 63 年、環境庁）

「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成 12 年、環境庁）

指定：指定されている特定植物群落

⑬専門家の助言により選定した種

○：専門家の選定種

ウ. 蘚苔類

7) 蘚苔類の状況

文献調査及び現地調査の結果、蘚苔類に係る重要な種は3科5種であった。文献及び現地で確認された蘚苔類に係る重要な種とその選定基準を表 8-4-2-4 に示す。

表 8-4-2-4 蘚苔類に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準		
			文献	現地	⑥	⑦	⑬
01	ミズゴケ	ハリミズゴケ	○	○		VU	○
02		イボミズゴケ	○			NT	
03		オオミズゴケ	○	○	NT	NT	○
04	クジャクゴケ	コキジノオゴケ	○		NT	VU	
05	ヤスデゴケ	サカワヤスデゴケ	○		VU	EX	
計	3科	5種	5種	2種	3種	5種	2種

注1. 文献調査及び現地調査によって位置情報が確認された種について確認状況欄にそれぞれ○を記載した。

注2. 蘚苔類に係る重要な種の選定基準は以下のとおりである。

⑥「環境省第4次レッドリスト 植物Ⅱ（維管束植物以外：蘚苔類、藻類、地衣類、菌類）」（平成24年、環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類

VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

⑦「レッドデータブックあいち2009」（平成22年、愛知県）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧

DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

⑬専門家の助言により選定した種

○：専門家の選定種

(2) 予測及び評価

1) 予測

ア. 予測の手法等

予測項目	予測の手法及び予測地域等
<ul style="list-style-type: none">・工事の実施に係る重要な種及び群落への影響・鉄道施設の存在に係る重要な種及び群落への影響	<p>予測手法：既存の知見の引用又は解析により、重要な種及び群落への影響について予測した。</p> <p>予測地域：工事の実施及び鉄道施設（非常口（都市部、山岳部）、変電施設、保守基地）の存在に係る重要な種及び群落への影響が生じるおそれがあると認められる地域として、調査地域と同様とした。</p> <p>なお、非常口（都市部、山岳部）及び変電施設は円の中心から半径 100m の範囲を、保守基地は円の中心から半径 150m の範囲を、改変の可能性のある範囲として設定した。</p> <p>予測時期：工事の実施に係るものは工事中、鉄道施設（非常口（都市部、山岳部）、変電施設、保守基地）の存在に係るものは鉄道施設の完成時とした。</p>

イ. 影響予測の手順

影響予測は、図 8-4-2-1 に示す手順に基づき行う。

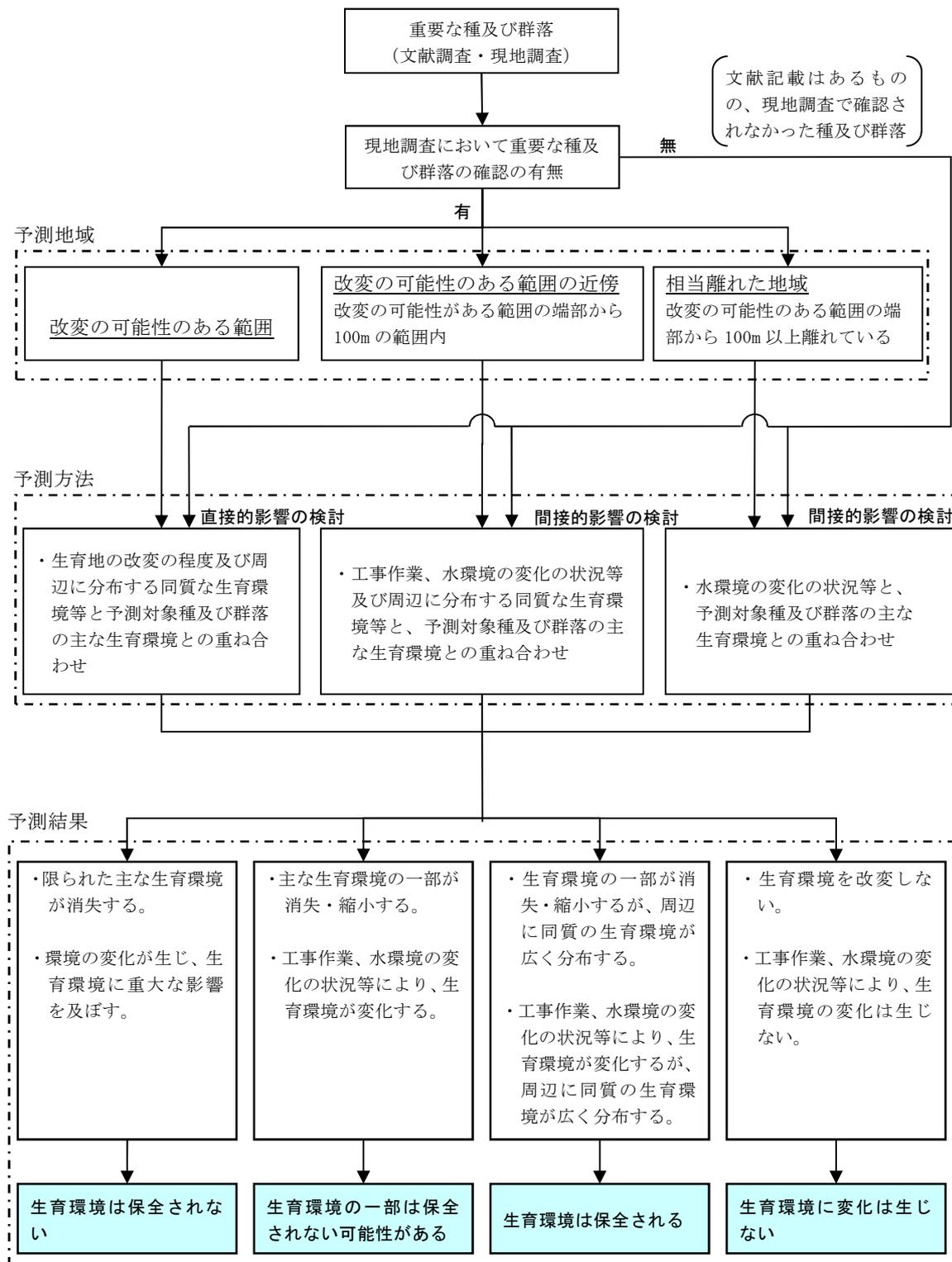


図 8-4-2-1 影響予測の手順

ウ. 予測結果

ア) 現地調査で確認された重要な種及び群落の生育環境への影響

現地調査で確認された重要な種の予測結果の概要を表 8-4-2-5 に示す。

表 8-4-2-5 重要な種の予測結果の概要

番号	種名	確認種の生育環境	生育環境への影響
01	サクラバハハンノキ	湿地	生育環境に変化は生じない
02	サイコクヌカボ	池周縁部の湿地	生育環境に変化は生じない
03	シデコブシ	水路沿い、湿地	生育環境に変化は生じない
04	ヘビノボラズ	湿地	生育環境に変化は生じない
05	トウカイコモウセンゴケ	湿地	生育環境に変化は生じない
06	ツメレンゲ	石垣	生育環境に変化は生じない
07	アサザ	ため池	生育環境に変化は生じない
08	カワヂシャ	河川	生育環境は保存される
09	ヒメタヌキモ	ため池	生育環境に変化は生じない
10	マルミスブタ	ため池	生育環境に変化は生じない
11	シラタマホシクサ	湿地	生育環境に変化は生じない
12	ヤマトミクリ	ため池	生育環境に変化は生じない
13	ナガエミクリ	水路	生育環境に変化は生じない
14	サギソウ	湿地	生育環境に変化は生じない
15	ハリミズゴケ	湿地	生育環境に変化は生じない
16	オオミズゴケ	湿地、水路沿い	生育環境に変化は生じない

イ) 文献でのみ記載がある重要な種及び群落の生育環境への影響

文献調査において対象事業実施区域及びその周囲に生育する可能性があると考えられる重要な種及び群落の内、現地調査で確認されなかった重要な種は、高等植物 324 種、群落は 5 群落、蘚苔類 3 種である。

工事の実施及び鉄道施設（非常口（都市部、山岳部）、変電施設、保守基地）の存在により、重要な種及び群落の生育環境の一部が消失、縮小する可能性が考えられるが、周辺に同質の生育環境が広く分布すること、工事に伴う排水は必要に応じて沈砂池、濁水処理装置を配置し処理することから生育環境の消失、縮小は一部にとどまる。また、東海丘陵の小湿地群は、直接改変はないため、生育環境に大きな変化は生じない。山岳トンネル区間において、東海丘陵の小湿地群は確認されるものの、湿地を涵養する湧水は表層の地下水により涵養されているため、深層の基盤岩をトンネルで通過することによる生育環境の変化はないと予測する。

したがって、事業の実施による影響の程度はわずかであり、重要な種及び群落の生育環境は保全されると予測する。

2) 環境保全措置

本事業は、工事の実施及び鉄道施設（非常口（都市部、山岳部）、変電施設、保守基地）の存在による植物への影響の程度はわずかであり、周辺に同質の生育環境が広く分布することから、重要な種の生育環境は保全される又は生育環境に変化は生じないと予測する。

このことから、工事の実施、鉄道施設（非常口（都市部、山岳部）、変電施設、保守基地）の存在に係る植物への影響はないものと考えられ、環境保全措置の検討は行わないこととする。

3) 事後調査

植物に係る影響について、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。

4) 評価

ア. 評価の手法

7) 評価手法等

評価手法	・回避又は低減に係る評価 事業の実施による影響が、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減がなされているか否かについて見解を明らかにすることにより評価を行った。
------	--

イ. 評価結果

7) 回避又は低減に係る評価

計画路線は、計画段階において、大部分をトンネル構造にするなどして、植物への影響の回避、低減を図っている。また、予測結果から、重要な種の生育環境は保全される又は生育環境に変化は生じないことから、植物の重要な種及び群落への影響はないものと考えられる。